



霊園だより 2009. Vol.10



発行：財団法人みやぎ霊園

住所：〒989-3121 仙台市青葉区郷六字大森 2-1

電話：(022) 226-2440 Fax：(022) 226-3238

URL <http://www.miyagi-reien.or.jp/>

Mail: aoba@miyagi-reien.or.jp



巻頭エッセイ

種まき桜

佐佐木 邦子

仙台市青葉区下愛子に「種まき桜」として付近の人に親しまれている桜がある。種まき桜、つまりこの桜が咲いたら畑に種をまく。年によって寒暖の違いがあるから、農作業はカレンダー通りにやってもうまくいかない。桜の開花に合わせれば大丈夫なのだ。

種まき桜と呼ばれ農作業のモノサシになっている桜はこのほかにもたくさんある。畑ではなく田んぼの準備にかかる地域も多い。種をまく時期でその後の成長や収穫量が決まってくるのだから、この桜は大事だった。時代をさかのぼるほど重要性は大きく、親しまれ方も切実だったろう。そしてその少くない部分の桜が、寺社の境内にある。

桜の花が咲くと、人は何となく浮かれたくなる。ふだんつまらなそうな顔をしている人でも用もないのにそわそわしてみたり、お酒を飲んで酔っぱらってみたり。東北の人はとくにそうだ。桜の花が咲けば文句なしに春。春といえば命のはじまりで、満開の桜は旺盛な生命力そのものだ。理屈ではない、桜の花とはそういうものだ。

昔は「花」といえば梅のことで、桜をさすようになったのは後代のことだそうだが、本当かなと思う。西の地方ではいざ知らず、少なくとも東北ではずっと花イコール桜だったのではないかな。梅も桜も開花期があまり違わ

ないから、早春の花としての梅のありがたみは少ない。おまけに桜は山の神であり豊穡の神である木花之開耶姫の花である。サクラの「サ」は神稲を表す接頭語、「クラ」は神のいますところ。サクラという名前自体が神を示している。満開の桜は豊穡の予告だ。誰が見ても桜ではない辛夷（こぶし）を「田打ち桜」と呼ぶ地方があるのもそのせいだろう。種まき桜や田打ち桜がカレンダーより信頼できるのはその開花が神の意志であるからだ。花といえば梅だったのは、中国文化の受け入れに熱心だった宮廷貴族の話で、東北の庶民は真っ先に桜をイメージしただろうと思う。

わたしの叔父は四月半ばに死んだ。寺への道々いたるところに桜の花が咲き、菩提寺もまた桜が満開だった。新しい塔婆を立て、線香をあげている手元にも、桜の花びらがひっきりなしに落ちてきた。

種まき桜がお寺に多いのは、農耕民族の血が、命の始まりは死者が眠る場所から、と信じているせいもあるのではないかな。植物が冬に枯れて死んでも、こぼれた種からおびた新しい別な命が生まれる。あたりの黒い墓石の上に絶え間なく花びらが降っていた。生命力そのもののような桜の乱舞は、命の輪廻にも見えた。

佐佐木 邦子（ささき くにこ）

●小説家、シナリオライター、日本ペンクラブ会員、日本民話の会・みやぎ民話の会会員、仙台市史編集委員 他。

●略歴／昭和56年宮城県芸術祭文芸賞（小説）、昭和57年宮城県芸術選奨新人賞（小説）、NHK仙台放送ラジオドラマ・コンク

ール最優秀賞。昭和59年中央公論新人賞（小説「卵」）受賞。昭和60年芥川賞候補（同）、小説やシナリオを書く一方、民話探訪の為に地域を歩く。

●著書／「泥鬼」、「卵」、「オシラ祭文」、「宮城集治監」、「宮城県の民話」（共著・宮城県教育委員会）、「土地に根ざした民話」、「みやぎの女性史」（河北新報社、担当・芸術・民族）など。

杜の都の公園墓地



みやぎ霊園
(022) 226-2440





プロフィール
神谷一雄
(財)みやぎ霊園理事長
日本商工会議所特別顧問

＜好雨時節を知り、春に当たりて乃ち発生す＞（杜甫）。立春を過ぎ、啓蟄、春分、穀雨と、この時節は、陽光やわらかく雨は万物を育み、花樹の芽も日々ほころんでまいります。梅の花は凛と咲き、桜は艶と散るとか。春の風景は心なごみます。

去年は、財団設立から10年の節目を迎え、記念式典には多くの皆様にご参列いただきました。開園以来40余年の間、皆様からお寄せいただいたきましたご厚情は、春の好雨にも勝り当園を育む力となっております。あらためて、厚く感謝申し上げます。

一方、定まらない世情は、春一番の荒れ模様か。疾風に勁草を知る。ここぞという時にこそ、しっかりと心強くありたいものです。

今期もしっかりとした運営を目指し、業務に邁進する所存でございます。かわらぬご支援を宜しくお願いいたします。



お 知 ら せ



墓地管理料について

ご使用家様で管理していただく墓地の内を除き、待合室や緑地植栽、園内共有部分の施設管理や事務管理などの霊園運営に要する費用は、皆様にお支払いいただく管理料によってまかなわれています。

管理料は、所定の期日までにお支払くださいますようお願いいたします。

霊園内でのお願い

- 大切な墓地内に雑草が根付いているのを見ることがあります。お墓を清潔に保つために、お掃除や草取りにお出かけください。
- お墓参りの折に、お菓子や果物などのお供物を置いておくと、腐敗しカラスや蜂が集まり、墓地や墓石が汚れてしまいます。墓地を清潔に保つため、ご面倒でもお供物はお持ち帰りください。

お墓内の除草について

皆様のお墓内部は、ご使用家様で管理いただいておりますが、管理事務所では清掃活動の一環として、お墓内の草取りサービスを実施しております。5月～9月の間、作業員が巡回して除草をいたしております。ご理解とご協力をお願いいたします。

各種手続について

- 名義変更
名義を変更される場合は、永代使用許可書、名義変更申請書、戸籍謄本（新旧名義人の関係がわかるもの）が必要です。
- 住所変更のお届出はお早めに・・・
お引越などで住所が変更した場合は、管理事務所までご一報下さい。
- 各種証明書発行
納骨・改葬・分骨など必要に応じて各種証明書を発行いたしますので、管理事務所にお申し出ください。
- 納骨手続き
納骨に際しては、管理事務所への届出が必要です。事前に日時をご連絡ください。

連絡先 管理事務所 (022) 226-2440

車上盗難にご注意ください

駐車中に、貴重品盗難の被害にあう方がいらっしやるようです。車内から見えるところにバックなどが置いてあると、鍵をかけていても窓ガラスを割られることがあるようですので、車上あらしには十分お気をつけください。

僧侶のご紹介

ご納骨やご法要などに際して、ご僧侶を紹介いたします。管理事務所へご相談ください。

ご使用家だより

第一回

～仙台フィルハーモニーの音楽活動～

木越 直彦 氏

私は、今年で入団以来25年になりますが、仙台フィルハーモニー管弦楽団にヴァイオリン奏者として在団しております。仙台フィルの演奏会に足を運んで下さっている方々には御礼申し上げます。おかげ様で我々の演奏会の宣伝、批評等が新聞紙上で取り上げられる事がありますが、そのほとんどは、4、8、12月を除く年間9回のメイン公演である定期演奏会のものです。皆様方の中には、仙台フィルの団員は定期演奏会以外はどうのような活動、あるいは生活をしているのだろうか？とお思いの方もいらっしゃるかもしれませんので、ここで少々説明させていただきます。

まず、仙台フィルは財団法人であり、我々団員はそこから毎月給料を頂き、ボーナスも支給され、と普通の会社勤め等の方々とシステム的には何ら変わりはありません。仕事の内容がオーケストラの演奏というわけです。前述の定期演奏会を含め、仙台フィルは年間120回前後の公演を行っております。ですから3日に1回は何かしらの演奏会があるという事になりますね。1回の演奏会のためのリハーサルは、定期的場合は3日ですがあとは1～2日です。それだけでもけっこうなスケジュールですね。定期以外の公演は特別演奏会、依頼演奏会、音楽鑑賞教室等々です。

例えば今年の仕事始めは、仙台の某企業様から依頼の「ニューイヤーコンサート」で始まりそれに併せて、仙台フィル自主公演の新年特別演奏会で盛岡市、福島市、いわき市と3日連続の公演、といったものでした。他に特別演奏会といえば毎年恒例の「第九」等がありますね。依頼演奏会としては、企業様等からの様々な形での公演依頼、それが普通のコンサート形式で

木越 直彦(きごし なおひこ) ヴァイオリン
仙台市生まれ。桐朋学園大学音楽学部卒業。1981年、ドイツ・ミュンヘン音楽大学に留学。ドイツ、オーストリア、イタリア各地で演奏活動。1983年帰国。それまで中塚久、小林健次、故久保田良作、ハインツ・エンドレスの各氏に師事。1984年、仙台フィルハーモニー管弦楽団(当時宮城フィル)に入団し、現在に至る。1994年以来、尚絅学院大学女子短期大学部保育科音楽コース非常勤講師を務める。現在、仙台フィル団員としての活動の他、ソロ、室内楽でも演奏活動をする。

あったり、新人演奏会での伴奏であったり、オペラ、バレエの公演であったりです。勿論それが仙台市内とは限らず、地方公演、演奏旅行である場合もあります。先日もこのような依頼公演がありました。岩手県内のとある市で新しくホールが建ち、それを祝してのビッグイベントで「第九演奏会」があり、そこで仙台フィルが地元の合唱団と共演するといったものでした。音楽鑑賞教室はその名の通り、主に小中学生に我々の演奏を聴いてもらい、実際の演奏に接する事によってより音楽に親しんでもらおうというものです。仙台市内のホールに小中学生を何日間かにわたって招き、プログラムはそれなりにわかりやすい曲、その中には指揮者体験コーナー、楽器紹介も含まれるという楽しいものです。同じ内容で「本物の舞台芸術体験」と称した文化庁の企画で、実際の学校を訪問しての演奏会もあります。その場合は関東関西等地方での公演が多いですね。

以上のような本業の「仕事」の傍ら、いわゆる「副業」でソロ、室内楽の演奏、あるいは後進の指導等々と、仙台フィルのメンバーは日々音楽活動に勤しんでいるのであります。



画：とよた かずひこ 氏

とよた かずひこ(豊田 一彦) 絵本作家
1947年宮城県生まれ。高校までを仙台で過ごし、早稲田大学第一文学部を卒業。フリーのイラストレーターを経て、娘さんの子育てを通して絵本の創作を始める。最初の絵本は、「ぼくはやっぱりとりなんだ」1983年(講談社)以後、多くの作品を発表する。主な作品に「でんしゃにのって」1998年厚生省中央児童福祉審議会児童文化財特別推薦などの、「うららちゃんののりもの」絵本シリーズ、「ワニのバルボン」シリーズ、「あかちゃんののりものえほん」シリーズ(以上アリス館)。「どんどこもんちゃん」2002年第7回日本絵本賞受賞などの「もんちゃんあそぼう」シリーズ(童心社)他多数。東京都在住。



みやぎ霊園文化講演会



～ふれあいゼミナール2009 参加メンバー募集～

本年度の参加メンバーを募集いたします。定員40名。下記のどの講演会にも毎回無料でご参加いただけます。ご希望の方は、返信はがきでお申し込みください。各講演のご案内書・テキストと会員証をご郵送いたします。また、全回ご参加の方には、記念品を贈呈いたします。

4月 第8回：4月19日（日）午後1時15分から

- 第1部 特別セミナー 講師 鈴木 岩弓 氏 // 東北大学大学院文学研究科教授

演題 「墓からみた東アジアの死生観」

アジア民族には、古代以来自然崇拝に基づいた信仰心が根底にある。その地域地域に根ざした自然や事象への畏敬から、その民族における死生観が生まれ、追悼儀礼様式が形成された。観念と様式が互いに影響しあっている。墓から見た東アジア諸国における死生観や追悼儀礼を比較し、日本人の持つ死生観の源流を探ります。

- 第2部 ふれあいコンサート 演奏 コンフント トラピチェ

演題 「アンデスの風について」

仙台市を中心にフォルクローレの演奏活動をしているアマチュアグループ。各地の演奏会出演やオリジナルCDをリリース。フォルクローレは「コンドルは飛んでゆく」などで有名なアンデス地方の民族音楽。楽器は、ケーナ、サンポーニャ、チャランゴなどアンデスの民族楽器です。アンデス山脈の大自然が眼に浮かぶような素朴で澄んだ音色をお楽しみください。

5月 第9回：5月9日（土）午後1時30分から

講師 郡山 宗英 氏 // 仙臺総鎮守 愛宕神社 宮司

演題 「鎮守の森とお愛宕さん」

愛宕神社は眼下に広瀬川を望む愛宕山に鎮座し、仙臺総鎮守”お愛宕さん”として仙臺市民に古くから親しまれている。慶長8年（1603年）遷座、主たる祭神である軻遇土神（カグツノミ・火の神）ほか十三神を祀る。今回は、宮司さんをお迎えし、生活に身近な祭祀の作法なども含めて、神社祭儀やお愛宕信仰にまつわる神道の伝統的なお話をご講演いただきます。

6月 第10回：6月27日（土）午後1時30分から

講師 渋谷 芳圓 氏 // 慈雲山 資福禅寺 住職

演題 「あじさい寺の法話と座禅体験」

資福寺は、初代藩主伊達政宗が青葉城築城の際、現在の北山に政宗公の師である虎哉禅師をして中興開山された。青葉城の鬼門を守る北山五山（資福寺・東昌寺・覚範寺・光明寺・満勝寺）の禅寺で、あじさい寺と呼ばれる名刹。伊達家ゆかりの歴史とともに豊かな緑の景観は、多くの市民に親しまれている。今回は、あじさいの美しい季節にお寺までお伺いし、禅師のご法話をいただき、座禅の体験をいたします。

10月 第11回：10月中旬（土）午後1時30分から

演題 「祈りと音楽 ～弦楽コンサート～」

仙台市内には、キリスト教系学校や教会が比較的多く、賛美歌や教会音楽を身近に感じている方も多いことでしょう。今回は牧師さんを迎え、一般の皆様にも親しみやすく、聖書の言葉や、祈りと音楽についてお話いただきます。弦楽合奏コンサートとあわせて、午後の豊かなひとときをお過ごしください。

*応募者多数の場合は抽選となります。ご通知は4月上旬。



年 次 報 告



● 日常業務

・ 枯花、供物収集 ・ ゴミ回収 ・ 除草作業 ・ 通路側溝清掃 ・ 植木、花壇の手入れ 等



● 平成20年度業務

- 3 月 新墓地拡張（仙台市指令第111号）
- 4 月 輪王寺にて講演会・座禅体験開催 A
貯水槽・高架水槽定期清掃
- 5 月 西5区擁壁上下植栽工事 B
墓地内巡回除草開始
水子地藏尊の石碑取付
遊びにきました C
- 6 月 5・7区前水汲場改修工事 D
定例役員会開催
財団法人設立10周年記念式典開催 E
- 7 月 管理棟塔屋防水・手摺塗装工事 F
7区歩行路舗装工事 G
管理棟トイレ便座交換工事
宮城県公益法人立入検査
- 8 月 西5区水汲場床石工事 H
西5・6-5区植栽生垣工事 I
- 9 月 墓地見学会開催
墓地内巡回除草作業終了
- 10月 職員採用1名
空調機配管補修工事
- 11月 霊園看板改修工事 J
水子地藏尊合同供養祭
- 12月 財団設立10周年記念碑建立工事 K



*決算財務諸表についてはHPに掲載しています。

ご法要施設のサービス

ご法要は、みやぎ霊園 2 階の法事室をご利用ください。 022-226-2440

要予約 席料 お一人様 525 円
・彼岸・お盆の期間は使用できません。



収容 25 名

- ・お申込みの際にみやぎ霊園のご使用家とお伝えください。
- ・各施設のパンフレットをお送り致しますのでお問合せください。

提携している周辺の法宴施設

料理仕出し

三心亭ほそ川	022-297-0111
魚長	022-263-7131
味の金魂	022-277-1041

ご会食施設

仙台 勝山館	022-213-9188
仙台エクセルホテル東急	022-262-2411
伝承千年の宿秋保温泉 佐 勘	022-398-2233



装花サービス

資料請求



遺影装花



お墓の装花

- 遺影装花
ご法要室での追善供養時
1対 10,500 円～
- お墓の装花
納骨や墓前供養時
1対 10,500 円～

好評
故人の面影を偲び、
花々を飾ります。



墓石建立工事・補修工事・墓誌（戒名）彫刻サービス

資料請求



みやぎ霊園墓石協力会
Tel 022-226-2126